

董 嘉敏  
DONG JIAMIN



## 二つのケーキ

陶磁器、人毛、ガラス、本焼き



## 二つのケーキ

私球体関節人形で表現することについて研究してきた。私の頭の中にあるファンタジーを、作品を通して鑑賞者にお伝えできればと考えている。そこで、「ペンタメローネ（五日物語）」の中から「ふたつのケーキ」という話を選んで今回の作品を制作した。

中世を舞台に、一つのケーキと一人の魔法使いの老婆への態度によって運命を決められた一組の姉妹が描かれた物語である。小さな選択ひとつでもたらされる運命的な変化であるバタフライ効果に私は大いに惹かれた。原文で、『喜びを与えることは喜びを受けることだと、私は今までずっと聞かされてまいりました。マンフレドーニア寺院の鐘は「我に与えよ、されば我も与えん」と鳴っています。愛情の釣針に親切と礼節の餌をつけない者は気に入った魚を釣り上げることはできません。』と書かれているように、二人の姉妹の運命は岐路を辿った。優しくて慈悲深い妹は、苦難を乗り越え、やがてハッピーエンドを迎えた。その一方、もう一人の姉は惨めで悪意に満ち、永遠の災難に見舞われる。

今回の制作で彼女達の柔らかな身体曲線としなやかな気質を表すために、メインの素材にビスク（磁器）を選んだ。そして、釉薬を使って柔らかく温かみのある肌の質感を具現化している。手足のディテールは、古代ギリシャ彫刻の豊かな表現をベースに、細かい処理を施している。その上、人毛やアンティークの布も使うことで、私の頭の中にある2人の少女のイメージへとより近づけた。

ビスクドールは、ある意味、固定された時間と記憶の標本のようなもので、うまく保存すれば何百年も新しい状態を保つことができる。この作品を通して、何世紀も前の小さな寓話をじっくりと味わっていただき、二人の乙女に纏わる運命の糸を確かめていただければと考える。美しさへのイマジネーションを、私の作品と共に末永く生かしていきたい。